

科目名	社会学概論Ⅰ			担当教員	平林 豊樹
単位	2単位	講義区分		ナンバリング	ED2SSE201
期待される学修成果	基礎教養 教科教育				
アクティブ・ラーニングの要素	プレゼンテーション				
実務経験					
実務経験を生かした授業内容					
到達目標及びテーマ	テーマは、「近現代社会の特徴を知る」です。各人の行為と社会構造とはどう関連するのか、グローバル化の渦中に在る世界と日常生活の些事とはどう関係しているのか、という問題について考えます。受講生が社会の微視的次元と巨視的次元との関係を理解し説明出来るようになるのが、目標です。				
授業の概要	社会学の基礎となる理論と概念とを講じます。殆ど毎回、授業内容に関する作文を課します。映像資料を見る可能性があります。定期試験期間に試験をせず、第15回は実質的な期末の試験と心得て下さい。授業第1回で授業の仕方その他を説明します。				

授業計画	
第1回	ガイダンス～授業の仕方について
第2回	社会学的思考の展開～古典的な社会学者と社会学の主要な理論的アプローチ
第3回	社会類型と社会変動～狩猟採集社会から今日のグローバル資本主義時代まで
第4回	理論社会学上の主要争点～理論的アプローチと主要争点との関係
第5回	社会的相互行為～非言語的コミュニケーション、相互行為の規則性
第6回	社会的相互行為～時空間と相互行為
第7回	政治社会学～国家
第8回	政治社会学～民主制
第9回	不平等の構造～階級・階層を例として
第10回	ジェンダー・フェミニズム・近代家族～女権拡張運動と近代性
第11回	家族社会学～家族の類型と変化、家族の暗部と代替物
第12回	映像資料の鑑賞～グローバル資本主義の悪弊を知る
第13回	映像資料の鑑賞～その悪弊に抗う社会運動を知る
第14回	映像資料の鑑賞～資料から読み取ったことを文章化する
第15回	まとめ～学生に質問し筆記で回答させる（実質的には期末の試験に相当する）。

事前学修	2時間	授業の各回で次回の予告をするので、それに基づいて準備しなさい。
事後学修	2時間	ハンドアウトとノートとを見直しておきなさい。
フィードバックの方法	教員は、授業時間内で学生に書かせる作文に目を通して学生の授業理解度を知り、それを授業の進め方に反映することがあり得ます。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
レポート	10%	レポート、授業中の課題作文に依って、学生の授業理解度を確認します。
上記以外の試験・平常点評価	90%	授業第15回の結果が、成績段階を決定します。成績評価方法は、授業第1回で説明します。
定期試験	0%	定期試験期間には試験をしません

補足事項	教科書：指定しません。授業中に、必要に応じて、参考文献、インターネット・サイト、その他を紹介します。
------	--

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
指定しません	無し	無し	無し	無し
参考資料	レポートなどの課題を提示することがあります（提示時期は未定）。この学校の学習支援インターネット・サイトの「教材」欄にハンドアウト等を掲載します（第1～3回迄の間に）。			

科目名	社会学概論Ⅱ			担当教員	平林 豊樹
単位	2単位	講義区分	講義	ナンバリング	ED2SSE402
期待される学修成果	基礎教養 教科教育				
アクティブ・ラーニングの要素	プレゼンテーション				
実務経験					
実務経験を生かした授業内容					
到達目標及びテーマ	テーマは、《個別の事例に注目して近現代社会の特徴を知る》です。各人の行為と社会構造とはどう関連するのか、グローバル化の渦中に在る世界と日常生活の些事とはどう関係しているのか、という問題について考えます。受講生が社会の微視的次元と巨視的次元との関係を理解し説明出来るようになるのが、目標です。「社会学概論Ⅰ」を踏まえて、各論を講じます。				
授業の概要	社会学の基礎となる理論と概念とを講じます。「社会学概論Ⅰ」の内容を前提として、個別領域について考察します。殆ど毎回、授業内容に関する作文を課します。映像資料を見る可能性があります。定期試験期間に試験をせず、第15回は実質的な期末の試験と心得て下さい。授業第1回で授業の仕方その他を説明します。				

授業計画	
第1回	ガイダンス～授業の仕方について
第2回	社会化とライフコース～子供の社会化
第3回	社会化とライフコース～ジェンダーの社会化
第4回	社会化とライフコース～ライフコースの過程での社会化
第5回	社会化とライフコース～加齢
第6回	貧困と社会福祉～貧困の定義と測定
第7回	貧困と社会福祉～社会的排除
第8回	貧困と社会福祉～福祉国家
第9回	貧困と社会福祉～社会変動の中での貧困と社会福祉
第10回	グローバルな不平等～グローバル資本主義下の経済的不平等
第11回	グローバルな不平等～富裕国での生活と貧困国での生活。貧困国の発展と人口問題の解決とは可能なのか？
第12回	映像資料の鑑賞～1980年前後の英国の或る社会運動を知る
第13回	映像資料の鑑賞～その社会運動の今日的意義を考える
第14回	映像資料の鑑賞～資料から読み取ったことを文章化する
第15回	まとめ～学生に質問し筆記で回答させる（実質的には期末の試験に相当する）。

事前学修	2時間	授業の各回で次回の予告をするので、それに基づいて準備しなさい。
事後学修	2時間	ハンドアウトとノートとを見直しておきなさい。
フィードバックの方法	教員は、授業時間内で学生に書かせる作文に目を通して学生の授業理解度を知り、それを授業の進め方に反映することがあり得ます。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
レポート	10%	レポート、授業中の課題作文によって、学生の授業理解度を確認します。
上記以外の試験・平常点評価	90%	授業第15回の結果が、成績段階を決定します。成績評価方法は、授業第1回で説明します。
定期試験	0%	定期試験期間には試験をしません

補足事項	教科書：指定しません。授業中に、必要に応じて、参考文献、インターネット・サイト、その他を紹介します。
------	--

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
指定しない	無し	無し	無し	無し
参考資料	レポートなどの課題を提示することがあります（提示時期は未定）。この学校の学習支援インターネット・サイトの「教材」欄にハンドアウト等を掲載します（第1～3回迄の間に）。			